

令和8年度第1回地元協議会「会議録」

日 時：令和8年8月16日（日）午前10時00分～午前11時40分

場 所：多摩ニュータウン環境組合 管理棟2階 201会議室

出 席 者

住民委員：落合自治連合会（1名）、唐木田自治会（1名）、中組自治会（1名）
唐木田李久保自治会（1名）、町田市上小山田町内会山中地区（2名）
ヒルサイドタウン鶴牧-6団地管理組合（1名）
エステート中沢団地管理組合法人（1名）

組合委員：事務局長、総務課長、施設課長、計画担当課長(兼)出納課長

その他参加者：管理者、リサイクルセンター長

町田市環境資源部（資源循環部長、循環型施設管理課長）
事務局（3名）

I 開会挨拶

・出席者・参加者の自己紹介。管理者挨拶。

II 定例報告（第1部）

1 令和7年度多摩清掃工場の運営について

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| (1) 主な事業の取り組み | (5) 能登半島地震により生じた災害廃棄物の受入れについて |
| (2) ごみ搬入量の推移 | |
| (3) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 | (6) 焼却炉運転日数 |
| (4) 構成市間応援協定に基づく処理状況 | (7) 環境測定結果 |

2 令和7年度リサイクルセンター運営状況について

3 その他

- (1) 第17回たまかんフェスタの開催について
(2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定
(3) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について

III 連絡調整（第2部）

1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗報告について

2 東京都における廃棄物処理体制について

3 勉強会について

IV 工場見学

・施設見学を40分程度実施。

<配布資料>

- ・令和8年度第1回地元協議会次第
- ・多摩ニュータウン環境組合地元協議会設置要綱
- ・令和8年度多摩ニュータウン環境組合地元協議会委員名簿
- ・<スライド資料>令和8年度第1回地元協議会

<司会進行 総務課長>

I 開会挨拶

総務課長	○組合委員及び関係者の紹介（自己紹介兼挨拶） ○住民委員の自己紹介（挨拶）
管 理 者	○多摩市及び環境組合へのご協力のお礼 ○唐木田地域のお祭りについて（たまかんフェスタ、福祉フェスタ、菖蒲館まつり、大妻多摩祭） ○災害について（熊本地震、観測史上初の茨城県台風上陸、千葉豪雨、首都直下地震） ○応援ごみについて（町田市家庭系可燃ごみ、能登半島地震災害廃棄物） ○電力地産地消について ○令和8年度の新たな試みとして定期修繕時に町田市と相互に家庭系可燃ごみ約1,000tの応援処理を行う。 ○令和19年4月の新施設稼働に向け取り組んでいるが、物価高騰や人手不足により公共工事の入札が非常に厳しい状況にあり、様々な検討が必要。 ○本日の予定について。
総務課長	○本日の会議進行への注意事項など説明（組合の写真撮影、録音について、発言時のマイク使用等） ○本日、配布資料の確認

II 定例報告（第1部）

事務局長	<スライド資料に基づき説明> スライド資料 P2 を用いて、地元協議会について説明。
総務課長	<資料1（スライド資料）に基づき説明> 定例報告、連絡調整の概要について、スライド資料 P3～P5 を用いて説明した。
事務局長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P6～P13 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場の運営について (1)主な事業の取り組み
施設課長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P14～P21 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場の運営について (2)ごみ搬入量の推移 (3)多摩清掃工場へのごみ搬入量 (4)構成市間応援協定に基づく処理の状況 (5)能登半島地震より生じた災害廃棄物の受入れについて (6)焼却炉運転日数 (7)環境測定結果

リサイクル センター長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P22 を用いて説明した。 2 リサイクルセンター運営状況について
総務課長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P23～P25 を用いて説明した。 3 その他 (1) 第 16 回たまかんフェスタの開催について (2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定について (3) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について
町田市循環型施設 管理課長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P26～P29 を用いて説明した。 町田市の支援依頼ごみ搬入量等の報告 1 ごみ量の状況 2 支援依頼ごみの状況 3 町田市バイオエネルギーセンターでの火災等による応援ごみの状況
町田市環境 資源部長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P30 を用いて説明した。 町田市の支援依頼ごみ搬入量等の報告 4 総括及び謝意
	【質疑応答】(スライド資料 P31)
エス テート 中 沢	リチウムイオン電池の処理について、どのくらいの事故件数があるのか。
施設課長	令和 7 年度が 96 件程度、令和 6 年度が 92 件程度発生している。 対策としては、破碎後のリチウムイオン電池が発火する恐れがあるので、破碎後の箇所カメラでの監視と、火花検知器が画像処理で検知した際に運転員に知らせる。あとは炎検知器というものがコンベア上に付いており、炎を検知した際に散水装置が起動して消火する。また昨年、不燃・粗大ごみピットのセンサーで温度を感知して、温度が上がったらピットに散水する装置を設置した。今はコンベアベルトを難燃性の材質に徐々に変更していく事業を進めている。
管 理 者	補足として、多摩ニュータウン環境組合から構成 3 市にはリチウムイオン電池等の分別を強くお願いしている。多摩市内の委員会等いろいろな場でも発信をしている。市民の皆様にはしっかり分別してもらえるようにすることが市の環境部署の使命だと思っている。同じ人格ではあるが、管理者の私として分別徹底を多摩市長の私に強くお願いし、多摩市長の私としても強く受け止めている。

ヒルサイドタウン 鶴 巻	今お話いただいたとおり、多摩市からのリチウムイオン電池に関する注意喚起があり、団地管理組合でも危険物として分別徹底を周知している。 多摩清掃工場でもリチウムイオン電池による火災が起きているとのことだったが、大きな火災になった場合、今までとは逆に町田市から支援をいただくこともあるという理解でよいか。
施設課長	万が一火災に遭った場合はまず、処理を続けられるか設備の故障の具合によって判断する。必要場合は町田市や八王子市に支援をお願いする。令和5年度に実際に火災があり、町田市と八王子市に搬入させてもらっている。
局 長	リチウムイオン電池はしっかりと分別していただければ工場としてはそれが一番いいが、そうは言っても先ほどの報告のように90件以上どうしても発生してしまう。そこから工場停止に繋がるような大きな火事にさせないようにすることが組合のミッションとなっているので、徹底して大事故にならないよう日々努めている。
総務課長	構成市と相互に協定を結んでおり、何かあった場合には応援をしていただく。さらに多摩地域全体でもまた相互の応援協定があり、バックアップ体制を整えている。
10:40	管理者が公務の都合により退席。

Ⅲ 連絡調整（第2部）

計画担当 課 長	<スライド資料に基づき説明> 以下内容をスライド資料 P32～P42 を用いて説明した。 1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗報告について 2 東京都における廃棄物処理体制について 3 勉強会について
	【質疑応答】（スライド資料 P43）
落合自治 連 合 会	清掃工場の施設老朽化対応の進捗についてということで、新しく建設する焼却施設の能力に「災害廃棄物を処理できる能力」とあった。昨今いろいろな会合で、大災害が発生したときに一番困るのが汚物の処理であるという声がかかり多い。簡易トイレを作ったとしても成人1人が1日にトイレに行く回数が5回と言われているが、4人いれば1日に40個の汚物が出てそれが1週間であれば280個、その処理にいろいろな被災地が非常に困っている。責任範囲としては下水道局辺りになるのかもしれないが、災害時の居住環境を守るという意味で一時的な保管場所等の役割を担っていただくといったことは可能か。
計画担当 課 長	今は計画段階なので、そういった対応ができるかは検討できていないが、今後打合せをしていく中で調整していきたい。災害廃棄物については工場の処理能力の10%程度を処理する見込みになっている。また多摩市からはオムツのような形で簡易トイレの汚物を吸収して、固形物になったものについては処理可能かといった話は受けている。

エステー ト 中 沢	スライド資料 P38 に、集約化した方が建設費の抑制、発電効率向上、環境性能の向上、人材確保ができると書いてあるが、実際問題ごみの搬送距離は増えるはず。スライド資料 P40 に実験をしたという話があったが、本当に集約化した方が効率がいいのか、そうじゃないケーススタディはされているのか。
計画担当 課 長	おっしゃる通りで、工場側の視点だとスライド資料のようなメリットがあるが、収集側の視点では遠い距離を搬送しなければならなくなる。実際に集約化を進める段階になればそういったことも検討していくことになる。加えて大きい施設に集約化してしまうと、その工場で事故があった際に影響の範囲が大きくなるので、そういったことも含めて何がベストな選択か考えていこうということは東京都が主体で動いている。多摩ニュータウン環境組合としては処理区域で新施設建設を考えている。
ヒルサイ ドタウン 鶴 巻	新施設が令和19年から本稼働ということで、10年後で意外と近いなという印象。そこで、新施設を建設する場所は現在と同じ場所になるのか、それともそれも含めて検討中ということなのか。
計画担当 課 長	基本方針をご報告した際にも説明させてもらっているが、現在と同じ場所に新施設を作る予定で進めている。
10:55	地元協議会閉会、希望者は5分休憩の後に工場見学。

IV 工場見学

見学行程

見学者説明室前⇒灰ピット⇒ごみピット⇒分析室前

⇒中央制御室前⇒発電機室⇒ごみクレーン操作室

(終了時刻 午前11時40分)